

平成 22 年度第 1 回磐田市遠江国分寺跡整備委員会議事要録

1. 日 時 平成23年3月28日(月) 13:00~15:10
2. 場 所 ワークピア磐田 視聴覚室
3. 出席者 ①整備委員:10名
②助 言:静岡県教育委員会文化財保護課職員1名
③事務局:教育長、教育委員会事務局長、職員4名
④傍 聴 者:なし

4. 議事要旨

(1) 教育長あいさつ

(2) 遠江国分寺跡整備委員長あいさつ

(3) 議題1 平成22年度事業について

①発掘調査(事務局=スライド上映して説明)

遠江国分寺跡の回廊跡や塔跡周辺の86㎡の発掘調査を行った。回廊は複廊である可能性が高いことが判明した。塔は丁寧な地盤改良を施していることが判明した。

②その他(事務局=一部スライドを上映して説明)

- ・今年度も中学の社会科副読本『遠江国分寺読本』の印刷を行い、新1年生全員に配布する。
- ・実行委員会主催による「国分寺まつり」に文化財課も参加してブースを設け、発掘調査のようすや遺物の展示・説明などを行ったほか、市役所6階から国分寺跡を見る「国分寺跡展望ツアー」を実施し100名の参加があった。

(4) 議題2 来年度事業について

①発掘調査(事務局)

不明な点が多いため補足の発掘調査を行う。回廊跡の追加調査と、南側の築地塀の調査を行う予定で、調査期間は2か月を見込む。

②その他(事務局)

- ・基本計画の策定は平成24年度となった。これにともない、整備の基本設計等も1年ずつ延伸する。
- ・平成23年度は整備委員会を2回開催する予定である。
- ・市役所市民ホールのリニューアルが予定されている。

Q 国分寺の模型はどうなるのか?

A 構想が固まっているわけではないが、模型が撤去されても、「小さな博物館」や壁面を利用した国分寺の顕彰を考えていきたい。

(5) 議題3 整備基本計画について

これまでの発掘調査の成果や、発掘調査などでわかった遠江国分寺跡の特徴について、資料やスライドを使って事務局から説明を行った。また、再整備の基本的な方向についての検討資料について説明し、意見を交換した。

発掘調査からわかった遠江国分寺跡の特徴としては、主に以下の点があげられる。

- ① 伽藍配置は、典型的な国分寺の伽藍配置となっている。
- ② 主要伽藍の基壇はいずれも「木装基壇」である。これが確認できたのは、全国の古代寺院跡の中で遠江国分寺跡が初めてで、唯一である。
- ③ 「木製の竿をもつ燈籠」が発見され、回廊にも「木製の排水路」が使われるなど、一般的に木を用いない部分にも木を用いている。
- ④ 塔跡から「塔本塑像」の頭部が発見され、塔の初層に彩色された仏像群があったことが判明した。頭部の出土は、国分寺跡としては初めてである。

また、発掘調査の成果にもとづいた再整備の内容としては以下の点があげられる。

- ① 基壇表示を「切石積み基壇」から「木装基壇」に変更する。
- ② 塔・金堂・講堂など、基壇の位置と大きさがまちがっているものを変更する。
- ③ 僧房や燈籠など、新たに発見された遺構の表示を行う。
- ④ 説明板を付け替え、内容を更新する。

〔主な意見・質疑応答〕

- Q 七重塔を現地に復元することができない理由を教えてください。
- A 歴史的建造物を復元する場合は、史跡の保存に支障がないこと、安全性が確保されるもの、復元する建物の規模や意匠・構造等について十分な資料があることが求められる。このため、建築基準法により、塔のような高い建物は木造では建てることができず、基礎を補強しなければならない。このため、遺構を破壊することになってしまう。また、七重塔は現存するものがないため、詳細な復元設計を行う資料にとぼしい。
- Q 平城宮の大極殿はどうして復元することができたのか？
- A 大極殿は基礎の部分が壊されて残っていなかったが、遺跡の調査で柱の配置などがわかり、復元設計を行うことができた。また、復元建物の基礎は箱状となっていて、遺構を破壊することなく建築することができた。
- (意見) 塔の復元は設計等に要する膨大な時間や費用、史跡の保護、造った後の維持・管理のことを考えると事業として成り立たない。現在では、技術が進歩していて現地でCGを使ってかなりリアリティをもって映像を映し出すことも可能になってきている。

⇒ 七重塔を復元することができない問題点について、事務局で文章化することとする。

- (意見) 「木装基壇」に替えるだけでは、変わったというイメージにならないのではないかと。
- (意見) 基壇を「木装基壇」にかえて、収蔵庫を撤去し、寺域を見通せるようにすれば相当景観は変わると思う。また、金堂などをステージにすれば空間の使い方も変わると思う。「木装基壇」は10年ぐらいすると傷んでくるが、傷んだらみんなでも取り替えたらどうか。
- (意見) 国分寺跡へ行ったら、少しずつイメージが変わっているというようにしてほしい。
- (意見) 10年後、20年後に国分寺をどう活用していきたいか、そうすることでどう磐田のまちを活気づけるか、というビジョンで考えたい。また、国分寺へのアプローチや市役所など周辺との関係や磐田のまちの全体の中でどのように位置付けるかも考慮したい。

⇒ 遠江国分寺の特徴を整理して、国分寺の周辺の道や施設との関係や、国分寺へのアプローチを考えて、再整備でどういうものが必要かというのを事務局で整理することとする。